

令和 8 (2026) 年度
東京大学大学院医学系研究科

医科学専攻修士課程

入学試験案内

東京大学大学院医学系研究科 医科学専攻への誘い

本学医学系研究科・医科学専攻・修士課程は、大学での学部・専攻を問わず、広く医学の基礎的分野の研究者・教育者の養成を行い、基礎医学研究を先導する未来のリーダーとなる人材を修士・博士課程の合計6年間をかけて育成することを目的に、平成11年度に設立されました。現代の医学研究において医学以外のバックグラウンドを持つ研究者が果たす役割はきわめて大きく、医科学専攻の教授・スタッフにも医学部以外の学部出身者が数多く含まれています。医学系研究科には博士課程から入学することももちろん可能ですが、修士の段階から系統的に医学知識を身につけ、大きく発展して欲しいという期待のもとに医科学専攻修士課程は設置されました。幸いにも、これまで非常に優秀な人材が本専攻に集い、巣立った後も様々な医学研究領域で将来を嘱望される若手研究者として活躍しています。

本修士課程の特徴のひとつは、入学前に配属教室を決めておくことも、決めないで入学することもできるという柔軟性にあります。修士学生に対しては、医学系研究科、医学部全体の教官が協力して指導に当たります。配属教室を決めていない学生は、4月から7月にかけて医学各分野の講義と実習ならびに各研究室の内容の紹介を受けた後、8月までに配属を決めることになります。このシステムにはいくつかの長所があります。一つは最初から各講座に割り振られず一緒に講義実習を受けることで、修士学生間に連帯感が生まれることです。学生は各教室に分かれた後も、お互いに生活や研究の交流を活発に続けることができます。これは博士課程からでは得難い貴重な絆です。第二に、学生も教師もお互いをより身近で理解することが出来、その分、納得のいく教室選びが可能となります。各研究室に配属後も、週一回は共通ゼミナールがありますし、希望すれば他の分野の実習も可能です。学年によってはコンパだけでなく、合宿旅行まで楽しんでいます。

現代の医科学、生命科学は多様性に富むと同時に奥深い領域です。分子構造・シグナル・発生などの基礎生物学から、病気の発症機序（病因）と治療、ゲノム医学、脳科学・予防医学などに至る幅広い分野をカバーしています。若いうちからあまり狭い研究領域に閉じこもるのは必ずしも賛成できません。研究分野を柔軟に変えうること、また、周辺領域の幅広い知識を身につけることが大切です。医科学専攻は学生を未来の宝だと考えています。セミナー、輪読会、共通講義や共通実習などで幅広い知識と、信頼しうる技術を身につけ、修士・博士の6年を終了した後に、どの様な分野に進むかを自らが決める自立した研究者になるための素地作りを誠心誠意サポートしたいと考えています。卒業後には、ポストドク、海外留学、研究職など多様な選択の道が拓かれます。

医科学修士課程は、生命現象への好奇心にあふれ、協調性を持ち、気力・体力の充実した学生を求めています。自分が「将来の基礎医学を背負って立つ」姿を想像してみてください。そんな未来に魅せられる自分を見出すことができたならば、本修士課程に是非応募してください。

令和8(2026)年度医科学専攻修士課程入学者選抜の実施方法について

令和8(2026)年度入学者の選抜を下記により実施します。出願に際して充分注意してください。

記

1. 受入指導教員について

- (1) あらかじめ指導教員を決めて受験することも、指導教員を決めずに受験することもできます。いずれの場合も興味のある研究室をできるだけ訪問するようにしてください。(ただし、医科学研究所と定量生命科学研究所は、(2)を参照。)入学試験は、指導教員を決めて受験する場合も、決めないで受験する場合も公平に実施されます。
- (2) 医学系研究科所属の教員(指導教員一覧に記載)を指導教員としてあらかじめ決めて受験することができます。各指導教員の受け入れ可能人数は、指導教員一覧にある「専攻分野」毎に「あらかじめ指導教員を決めて受験し入学する者」及び「入学後ローテーションで指導教員が決まる者」を合計して学年毎に「2名以内」となります。

あらかじめ指導教員を決めて受験する者は、出願前に必ず希望する指導教員と連絡を取って、希望する指導教員の研究分野および指導方針が自分の希望と合っていることを確認してください。さらに、希望する指導教員の研究室を訪問し、教員が受入を承諾した場合は、別紙「指導教員受入確認票」の所定の欄に指導教員から受入を承諾する旨の署名をもらい出願書類に同封し、願書の指定された箇所の「志望する研究室」の「有り」にチェックを入れ、専攻分野名と希望する指導教員を記入してください。

なお、協力講座である医科学研究所と定量生命科学研究所の配属枠は合わせて「4名以内」という制限があります。希望する場合は入学後に配属を決定することになりますが、希望どおりにならない場合があります。(従って、医科学研究所と定量生命科学研究所の教員を指導教員に指名して出願することはできず、指導教員を決めずに受験した上で、入学後下記(6)のローテーションを経て決めることになります。)

- (3) 指導教員を決めずに受験する者は、願書の指定された箇所の「志望する研究室」の「無し」にチェックを入れてください。なお、指導教員を決めずに受験する者も、研究指導を受けたいと思う教員がすでにいる場合には出願前に連絡を取っておくようにしてください。
- (4) 出願前の希望指導教員との連絡の機会として、5月24日(土)に「医科学専攻修士課程入学ガイダンス」を開催しますので、受験を希望する者はできるだけ参加するようにしてください。詳細は、医科学専攻のホームページをご覧ください。

<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/mms/guidance.html>

- (5) 指導教員を決めて受験し合格した者は、入学後は原則として指導教員の変更は認められません。
- (6) 指導教員を決めずに受験した者は、入学後に実施されるローテーション(研究室訪問)の後に指導教員を決めることになります。ただし、受入人数の制限から第一希望の教員の指導を受けられないことがあります。
- (7) 本専攻では、入学後、決定された研究室から、学内外の他研究室等へ研究指導の委託を行うことは、原則として認められません。

2. 志願理由書について

本専攻を志願した理由を、A4判2枚にまとめ、2枚とも左上に「志願理由書、氏名、ページ数」を記載して、ホチキスをせずに入学願書に同封すること。

3. 試験科目について

入学試験は、筆記試験(一次試験:専門科目)と口述試験(二次試験)で構成されます。

筆記試験科目のうち「外国語」については、筆記試験実施を取りやめてTOEFL等の民間試験スコアの提出に変更されております。詳細は、別添「修士課程入試の外国語(英語)について」参照。

(1) 専門科目 I

以下に示す基礎問題から 1 問、専門総合問題から 2 問の計 3 問を解答する。

1a. 基礎問題

基礎問題は、生物学に加え、物理学、化学の 3 科目の中から 1 科目を選択して解答する。出題範囲はおおよそ以下の通り。

・生物学

基本的な生命科学の理解をしているかどうかを問う問題。内容としては、Alberts et al, Essential Cell Biology (日本語訳 Essential 細胞生物学)の基本的な部分を想定している。

・物理学

基本的な物理学を理解しているかを問う問題。古典力学、波動、熱力学、電磁気学、現代物理学 (20 世紀の物理学) の範囲から出題する。

・化学

基本的な化学を理解しているかを問う問題。物理化学・無機化学・分析化学分野から 5 割程度、有機化学分野から 5 割程度出題する。問題の多くは大学の一般教養で習う程度の基本的なものとする。内容としては、物理化学・無機化学：アトキンス物理化学(東京化学同人)、基本無機化学(東京化学同人) など；有機化学：マクマリー有機化学、ウォーレン有機化学、ボルハルトショアー現代有機化学、スミス有機化学、ジョーンズ有機化学などを想定している。

1b. 専門総合問題

専門総合問題は、以下の分野の 6 問から 2 問を選択して解答する。

・細胞生物学・分子生物学・病理学 (2 問)

基礎問題の生物学とも重複しますが、Alberts et al, Essential Cell Biology (日本語訳 Essential 細胞生物学) のより専門的な部分からも出題することがある。

・生理学・脳科学 (2 問)

分子・細胞レベルを中心とした基礎的な生理学や分子、細胞、回路レベルを中心とした脳科学に関する問題を出題する。

・統計学 (1 問)

生物統計学の基本となる理論を理解しているかを問う問題。

・Chemical Biology (1 問)

生物学、医学分野の課題を、化学的な発想、技術によって解決する研究分野であるケミカルバイオロジーに関する問題を出題する。具体的には、イメージング、摂動、スクリーニング、オミクス解析、生体機能解析などの原理、利点、問題点やその適用事例を中心に、幅広い分野に対する理解度を問う問題を出題する。

(2) 専門科目 II (小論文)： 与えられたテーマについて 1 時間で書く問題。

(3) 口述試験： これまでの学部時代の活動や、研究に対する熱意などを面接官が判断する。

医科学専攻の教育研究上の目的

東京大学大学院医学系研究科医科学専攻修士課程では、医学系の最先端研究を遂行するために必要な基礎学力を具えており、生命現象のしくみの解明・疾患の克服に寄与し新たな知的価値を創出できる国際的リーダーを養成することを目的とする。

令和8(2026)年度医科学専攻修士課程を受験する皆さんへ

医科学専攻修士課程では、入学して最初の3ヶ月間に基礎医学の講義・実習（注①）をおこない、その後、指導教員のもとで研究を開始します。学生は、その成果を修士論文にまとめて当課程を修了することになりますが、修了後はそのまま医学博士課程へ進学することが求められています。

あらかじめ指導教員を決めて入学した学生は、入学後、基礎医学の講義・実習を受けながら希望する指導教員のもとで研究を始めることもできます。指導教員を決めずに入学した学生は、入学後に行なわれるローテーション（注②）を経て、指導教員を決定することになります。

入学後の流れは下記のようになりますので、参考にしてください。

記

〔入学から修了するまでの流れ〕

1年次

4月1日	医科学専攻修士課程入学
初旬	入学ガイダンス
～6月下旬	前期授業（講義・実習等）
～7月下旬	ローテーション（指導教員を決めないで入学した学生による研究室訪問）
8月下旬	指導教員を決めないで入学した学生に対する指導教員の決定（内定）
10月1日～	研究室による演習・実習

2年次

4月	研究室による演習・実習、病院実習（希望者のみ）
～2月上旬	
7月	医学博士課程入試出願
10月中旬	医学博士課程入試受験（医科学専攻修士課程修了込者は筆記試験免除）
2月上旬	修士論文発表会
3月	医科学専攻修士課程修了

4月	医学博士課程進学
----	----------

注① 授業は、基礎医学に関する講義と実習、病院実習（希望者のみ）で構成されています。講義と実習は基礎医学系研究室が担当し、基礎医学の知識を教授します。病院実習は、数班に分かれて医学部附属病院を訪れ、実際に臨床の場を見学して医学の重要性を経験するものです。

注② ローテーションとは、指導教員を決めないで入学した学生が、上記①の授業を通して興味を持った研究室を訪問し、実際の研究室の雰囲気、研究内容および指導方針を確認するための期間です。なお、指導教員を決めて入学した学生は、指導教員のもとで研究を開始します。

注③ ただし、講義・実習内容については、今後変更する可能性があります。

注④ 病院実習希望者は、実習前に抗体検査が必要です。詳細は入学ガイダンス等で案内します。

医科学専攻修士課程

✖Please use this format.

指 導 教 員 受 入 確 認 票/Confirmation of Research Supervisor's Acceptance

研究室名 Lab's name	訪問日 Date of visit to the lab
	year month day 2025 年 月 日 ()
受験者氏名（自筆） Applicant's name (Signature)	(生年月日 Date of birth : / /)
学歴 Educational background	高校卒業から記入してください。Start from graduation of high school (Date: yyyy/mm/dd) / / 高等学校卒業
研究歴 Research history	
研究上の特記事項 Special remarks about research (if any)	
研究したい研究内容及び希望する指導教員 Content of research you plan to conduct and your prospective supervisor's name	[研究内容 Content] [希望指導教員 Prospective supervisor]
上記受験者が、2026 年度東京大学大学院医学系研究科医科学修士課程入学試験に合格した場合は、受入を認めます。	
受入予定教員氏名/Professor's signature :	

注【受験生の方へ】以下をご確認のうえ、□に✓願います。Confirm the following items and tick the boxes.

- ☐ 研究室訪問時に、希望指導教員から受入内諾を得た場合、本票を希望指導教員に渡してください。
Please submit this form to prospective supervisor if he/she agrees to supervise you.
- ☐ 医科学研究所および定量生命科学研究所属の教員は、出願時には指導教員として希望できませんのでこの受入確認票の対象外となります。上記の研究所に所属の教員を希望する場合は、出願時は志望指導教員を決めずに出願してください。
Professors from the Institute of Medical Sciences and the Institute for Quantitative Biosciences cannot be designated as supervisors at the time of application.
Preferences for these professors will be addressed and decided upon only after entry.
- ☐ 本票を提出した受験者は、入学後は原則として指導教員の変更は認められません。
As a general rule, those submitting this form are not allowed to change their research supervisor after enrollment.

【指導教員の先生へ】 以下をご確認のうえ、□に✓願います。

- ☐ 受入を承諾した教員は、正本を受験者に渡し、控えとしてコピーを1部取ってください。
- ☐ 受入指導教員が本確認票にサインをできるのは2名以内とします。また、一年度内に受け入れることができる医科学修士の学生数は2名までです。ご注意ください。

令和8(2026)年度

東京大学大学院医学系研究科〔医科学専攻修士課程〕受入予定指導教員一覧(2025.5現在)

分子細胞生物学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
細胞生物学	教 授 岡田 康志 e-mail: yokada@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0959	細胞生物物理学、ライブセルイメージング、一分子計測	細胞生物学・解剖学
生 体 構 造 学	教 授 吉川 雅英 e-mail: mkikkawa@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3338	上皮構造の細胞生物学、クライオ電子線トモグラフィー	細胞生物学・解剖学
神経細胞生物学	教 授 岡部 繁男 e-mail: okabe@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1928	中枢神経系回路網の形成と維持の分子機構	細胞生物学・解剖学
先 端 構 造 学	教 授 ラドスティン・ダネフ e-mail: rado@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3413	クライオ電子顕微鏡による構造生物学	先端構造学
分 子 生 物 学	教 授 水島 昇 e-mail: nmizu@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3440	オートファジーの分子機構と生理機能	生化学・分子生物学
代謝生理化学	教授 村上 誠 e-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1431	脂質による生体内環境整備機構の解明	生化学・分子生物学
遺 伝 情 報 学	教 授 岡田 随象 e-mail: yuki-okada@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1860	大規模ゲノミクス解析、遺伝統計学、バイオインフォマティクス	生化学・分子生物学
分子病態医科学			

機能生物学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
統 合 生 理 学	教 授 大木 研一 e-mail: kohki@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3459	大脳皮質視覚野の神経回路と情報処理の研究、2光子Caイメージング	生理学
細胞分子生理学	教 授 松崎 政紀 e-mail: mzakim@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3467	前頭前野・意思決定、運動学習回路、BMI	生理学
神 経 生 理 学			
細胞分子薬理学	教 授 廣瀬 謙造 e-mail: kenzoh@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3414	神経細胞機能の構築原理、細胞生理学、薬理学、ケミカルバイオロジー	薬理学
システムズ薬理学	教 授 上田 泰己 e-mail: uedah-tyk@umin.ac.jp tel: 03-5841-3415	睡眠・覚醒リズムのシステム生物学・合成生物学	薬理学
構 造 生 理 学			

病因・病理学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
人体病理学・ 病理診断学	教 授 牛久 哲男 e-mail: usikut-ky@umin.ac.jp tel: 03-5841-3344	消化管病理学, 病理診断学	病理学
	教 授 高田 龍平 e-mail: tappei-ky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp tel: 03-3815-5411 (内線30750)	臨床薬理学、臨床薬物動態学、生活習慣病とトランスポーター	薬剤部
	准教授 鯉沼 代造 e-mail: koinuma@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3359	シグナル伝達機構研究、トランスクリプトーム解析	病理学
分子病理学	教 授 山田 泰広 e-mail: yyamada@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3585	個体レベルでのエピゲノム医科学研究	病理学
	准教授 山田 洋介 e-mail: yoyamada@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3411	胸腺病理学、実験病理学	病理学
微生物学	教 授 竹田 誠 e-mail: mtakeda@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3408	呼吸器ウイルスの病原性発現機構	微生物学
	准教授 加藤 大志 e-mail: hirokato@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3404	パラミクソウイルス感染におけるウイルス-宿主相互作用の理解	微生物学
感染制御学	教 授 堤 武也 e-mail: takeyatsutsumi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp tel: 003-3815-5411 (内線35335)	肝炎ウイルスによる病態発現機構の解析	微生物学
免 疫 学	教 授 高柳 広 e-mail: takayana@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3375	自己免疫疾患の病態、および骨免疫学に関する研究	免疫学
動物資源学	教 授 饗場 篤 e-mail: aiba@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3638	神経回路形成の分子遺伝学、マウス発生工学、変異マーマウス作製による精神疾患モデル動物の樹立	疾－動物資源学

生体物理医学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	
放射線分子医学	准教授 細谷 紀子 e-mail: nhosoya@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3505	DNA修復を標的とした癌治療の研究	疾－放射線分子医学
システム生理学	准教授 山本 希美子 e-mail: kyamamoto@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3564	メカノバイオロジー、バイオメカニクス、循環生理学	医用生体工学
生体機能制御学			
生体情報学	教 授 浦野 泰照 e-mail: uranokun@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3601	蛍光・増感・発光プローブ開発, 生細胞・動物個体イメージング, in vivoがんイメージング・治療	医用生体工学(薬学系研究科)
	准教授 小嶋 良輔 e-mail: kojima@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3568	合成生物学、細胞外小胞、蛍光・発光イメージング、がん診断・治療、ドラッグデリバリー、タンパク質工学	医用生体工学
医療材料・機器工学	教授 原田 香奈子 e-mail: kanakoharada@g.ecc.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-6289	医療機器・手術支援ロボット・手術手技評価	疾－医療材料・機器工学

脳神経医学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	
神 経 病 理 学			
神 経 生 化 学	教 授 尾藤 晴彦 e-mail: hbito@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3559	長期記憶・可塑性の分子機構、ニューロンのシグナル伝達	基礎神経医学
こころの発達医学			

社会医学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	
衛 生 学	教授 石川 俊平 e-mail: ishumi-prm@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3434	がんゲノミクス・バイオインフォマティックス	医－社会予防医学
健康環境医工学	教授 村上 誠 e-mail: makmurak@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1431	脂質による生体内環境整備機構の解明	疾－健康環境医工学
医療情報学	准教授 今井 健 e-mail: imai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3454	医用人工知能、医療データ解析、次世代電子カルテ、医療情報の標準化	疾－医工情報学
	准教授 脇 嘉代 e-mail: kwaki-ky@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5800-9129	モバイル医療と疾病・健康管理、臨床研究、臨床疫学	医－医療情報学分野

その他の専攻分野

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	
臨床医工学	教 授 鄭 雄一 e-mail: tei@tetrapod.t.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-8843	骨軟骨生物学・再生医学、バイオマテリアル工学	疾－臨床医工学 (工学系研究科)
	准教授 北條 宏徳 e-mail: hojo@g.ecc.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1427	骨軟骨発生学・再生医学	疾－臨床医工学 (工学系研究科)
医療材料・機器工学	教 授 伊藤 大知 e-mail: itotaichi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1425	医用材料・ハイドロゲル・微粒子・組織工学・ドラッグデリバリー	工学系研究科

疾－疾患生命工学センター

この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがある。更新後の情報については、本研究科Webサイト内のホーム>入進学希望の方へ>大学院医学系研究科のページ

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html> に掲載するので、そちらを確認すること。

協力講座（医科学研究所、定量生命科学研究所）

専攻分野	指導教員		研究分野	所属講座
分子生物学	教 授	岡田 尚巳	ウイルスベクター、神経筋疾患の分子病態解明と遺伝子細胞治療	科－分子遺伝医学
	教 授	中西 真	老化の分子生物学、非ゲノム情報の複製機構	科－癌防御シグナル
生体構造学	准教授	堀越 直樹	エピジェネティクス、高次クロマチン形成機構の解明	定－クロマチン構造機能
神経細胞生物学	教 授	白髭 克彦	ゲノム機能構造学	定－ゲノム情報解析研究分野
	教授	奥山 輝大	社会性行動の神経科学・自閉症の病態解明	定－高度細胞多様性研究センター
	准教授	中戸 隆一郎	データ駆動型ゲノム情報解析、ゲノム立体構造解析、1細胞解析	定－大規模生命情報解析
人体病理学・病理診断学				
分子病理学	教 授	古川 洋一	癌の発生、進展のメカニズムの解明、ゲノム解析	科－先端医療研究センター
	教 授	山梨 裕司	細胞内シグナル伝達機構とその破綻による疾患の分子病態	科－腫瘍抑制
	教 授	藤堂 具紀	遺伝子組換えウイルスを用いたがん治療開発、脳腫瘍治療開発	科－先端医療研究センター
	教 授	柴田 龍弘	ゲノム解析による病態の理解	科－ゲノム医科学
	教 授	武川 睦寛	生体内シグナル伝達の制御と疾患発症機構の解明、分子診断・治療法開発	科－分子シグナル制御
	教 授	真下 知士	ゲノム編集、ヒト化動物、遺伝子治療	科－実験動物研究施設
	教 授	西村 栄美	老化、がん、組織幹細胞の研究	科－老化再生生物学
	教 授	山崎 聡	幹細胞制御研究から細胞治療、遺伝子治療の開発へ	科－細胞制御
	准教授	山内 茜	生体内シグナル伝達機構と難治性疾患におけるその破綻に関する研究	科－腫瘍抑制
	准教授	小林 妙子	成体神経幹細胞、組織幹細胞の休眠制御、プロテオスタシス	科－タンパク質代謝制御
外科病理学	教 授	谷口 英樹	再生医療、移植外科学	科－再生医学
微生物学	教 授	俣野 哲朗	エイズ発症機構の解析およびワクチン開発	科－エイズワクチン開発
	准教授	一戸 猛志	インフルエンザウイルス感染に対する免疫応答の制御	科－感染症国際研究センター
感染制御学	教 授	川口 寧	ウイルスの増殖および病原性発現機構の研究	科－ウイルス病態制御
	教 授	佐藤 佳	システムウイルス学、実験ウイルス学	科－システムウイルス学
	教 授	岩間 厚志	造血幹細胞・造血管腫瘍のエピジェネティクス	科－幹細胞分子医学
	教 授	石井 健	ワクチンの基礎と臨床	科－ワクチン科学
	教 授	新藏 礼子	抗体遺伝子編集機構の研究、腸内細菌とIgA抗体の相互作用	定－免疫・感染制御
	教 授	岡崎 拓	自己免疫とがん免疫の分子細胞生物学	定－分子免疫学
	教 授	Cevayir COBAN	宿主病原体相互作用	科－マラリア免疫学分野
	准教授	長村 登紀子	臍帯血・臍帯由来細胞を用いた免疫・再生医学	科－セルプロセッシング輸血部
	准教授	岡崎 一美	自己免疫とがん免疫の分子細胞生物学	定－分子免疫学
神経生化学				

科－ 医科学研究所 定－ 定量生命科学研究所

この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがある。最新版の情報は、本研究科Webサイト内の
ホーム＞入進学希望の方へ＞大学院医学系研究科 のページ(<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>)で確認すること。

入学願書作成時の注意事項について（医科学専攻 修士課程）

※ 募集要項をよく読んで作成すること。

	対 象 欄	記 入 例 ・ 注意事項など
願書 (表面)	志望専攻分野 志望指導教員	別添の「指導教員一覧」を参照の上、記入すること。
	氏名	フリガナ、英字氏名も記入すること。英字氏名については、パスポートの氏名と一致させること。
	履歴	大学入学以降の履歴を記入すること（短期大学や他大学等から編入学している場合にも、履歴欄に記入すること）。 諸外国の学校教育制度により修了の者は二重枠欄「Formal education outside Japan」に記入すること。
	職歴	欄内に記入しきれない場合、欄内には「別紙参照」と記入の上、全ての履歴を記入した別紙(A 4判用紙)を添付のこと 職歴は原則「常勤」での勤務を記入すること。 *医師については、研修は、“(研修)”、非常勤医員としての勤務については、“(非常勤)”と記載すること。
願書 (裏面)	E-mail	提出書類に不備があった場合の連絡は原則 E-mail または携帯に連絡することになるので、必ず記入すること。
	連絡場所(緊急時)	「現住所」欄と同様の場合は「 ☐ 現住所と同じ」に✓印を付けること。
	学生証・研究生証	本学の学生のみ記入すること。
志願理由書		医科学専攻を志願した理由を、A 4判2枚にまとめ、2枚とも左上に「志願理由書、氏名、ページ数」を記載して、ホチキス止めはせず入学願書に同封すること。
日本語能力証明書 (留学生のみ)		日本語検定試験等を受験している留学生については、合格証明書のコピー提出に代えることができる。

その他

- ・ 出願期間を過ぎた場合については、理由の如何に関わらず一切受け付けることは出来ないので、出身学校等へ証明書等の発行依頼を早めに行うこと。万一、証明書の発行が間に合わない場合には、必ず事前に医学系研究科大学院担当（E-mail:in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）へ連絡すること。
- ・ 入学試験の試験時間については、出願後に送付される「受験者心得」により通知する。

修士課程入試の外国語(英語)について

※令和8(2026)年4月入学のための入試情報です。

東京大学大学院医学系研究科修士課程の各専攻(健康科学・看護学専攻、国際保健学専攻、医科学専攻)の入試においては、「外国語(英語)」試験は実施せず、TOEFL 又は IELTS の成績を利用して外国語審査を行います。修士課程へ出願する方は、以下要領で、TOEFL 又は IELTS の成績証明書をご提出ください。

なお、3. 備考にあるとおり、一定の要件を満たした場合、TOEFL 又は IELTS 成績証明書の提出が免除される場合があります。免除希望者は、3. 備考のとおり申請期間中に必要書類を提出のうえ審査を受けてください。

1. TOEFL の場合

1	試験の種類	TOEFL-iBT、TOEFL iBT® Home Edition のいずれかのスコアを受理します。
2	有効期限	TOEFL の成績は、2023 年 8 月 1 日以降に受検したものに限定します。
3	提出物① Official Score Reports の送付手配完了を示す Web 画面のコピー	TOEFL 申込時から受検前日までの間に、ETS 個人アカウントでページにログインし、本研究科に「Official Score Reports」を送付手配する手続きをしてください。その際、下記のコード等を入力してください。 DI (Designated Institution) Code: 8426 University OF Tokyo Faculty MED Division: Graduate Organization Department: 42 - Medicine なお、過去に受検した TOEFL-iBT スコア(有効期限内に限る)を利用する場合も、同様の送付手配をしてください。 さらに、「Official Score Report」の直送手配が完了していることがわかる Web 画面のコピー(手配をしたことが確認できる画面や、送付手配完了メールを印刷したもの等。受検日および上記 DI Code が確認できること。) <u>1 部を出願書類に同封し</u>、出願期間中に提出してください。 ※出願以前に手続きが済んでいれば、Official Score Report の到着が出願締め切り後になったとしても出願を受理します。
4	提出物② Test Taker Score Report	受検日から 4～8 日後に個人アカウントページ上で PDF「Test Taker Score Report」がダウンロード可能になりますので、印刷して <u>1 部を出願書類に同封し</u>、出願期間中に提出してください。 ※TOEFL を複数回受検した場合でも、同封するスコアは 1 部に限ります。 ※スコアに関する詳細は以下の ETS ホームページを参照してください。 https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/scores.html
5	注意事項	「Official Score Report」が複数枚研究科に届いた際は、上記 3 と同一のスコアを採用します。 以下の場合、TOEFL の成績は無効とみなして、外国語審査を受験しなかったものとして取り扱います。 (1) ETS から「Official Score Report」が届かなかった場合 (2) 「Test Taker Score Report」のコピーと「Official Score Report」が一致していない場合 (3) 指定された期日(上記 2 参照)より前に受検した TOEFL の成績を提出した場合 (4) その他不正な方法で提出した場合

2. IELTS の場合

1	試験の種類	対象とする IELTS の種類は、「IELTS (Academic Module)」のみです。「IELTS (General Training Module)」は対象としません。
2	有効期限	IELTS の成績は、2023 年 8 月 1 日以降に受検したものに限定します。
3	提出物① 「Test Report Form」のコピー	「Test Report Form」のコピー 1 部を出願書類に同封し、募集要項で定められている出願期間中に提出してください。 ※IELTS を複数回受験した場合でも、同封するスコアは 1 部に限ります。 ※スコアに関する詳細は以下の IELTS ホームページを参照してください。 http://www.eiken.or.jp/ielts/
4	提出物② 「Test Report Form」の原本	IELTS 事務局へ、上記 3 で提出したものと同一受検時の「Test Report Form」の追加発行を申請し、下記の宛先に送付するよう請求してください。 〒113-0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号 東京大学大学院医学系研究科学務チーム大学院担当 ※出願以前に請求が済んでいれば、事務局から送付される Test Report Form の到着が出願締め切り後になったとしても受理します。なお、IELTS を複数回受検したことにより「Test Report Form」が複数枚研究科に届いた際は、上記 3 と同一のスコアを採用します。
5	注意事項	以下の場合、IELTS の成績は無効とみなして、外国語審査を受験しなかったものとして取り扱います。 (1) IELTS 事務局から「Test Report Form」が届かなかった場合 (2) 願書に同封された「Test Report Form」のコピーと IELTS 事務局から送付された「Test Report Form」の内容が一致していない場合 (3) 願書に同封された「Test Report Form」のコピーと IELTS 事務局から送付された「Test Report Form」の内容が一致していない場合 (4) その他不正な方法で提出した場合

3. 備考

次の (1) または (2) に該当する場合、TOEFL または IELTS のスコア提出が免除される場合がある。スコア提出の免除を希望する者は、出願前に個別の審査を行うので、事前に本研究科事務部 (in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に申し出たうえで、2025 年 6 月 6 日 (金) までに審査に必要な書類を提出すること。

- (1) オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、イギリス、アメリカのいずれかの大学を卒業（見込みも含む）した者
- (2) 上記 (1) 以外の大学の卒業（見込みも含む）者で、大学全体が英語で授業を実施していることを示す大学発行の証明書を提出した者

※ いずれも学士課程に限る。修士課程および博士課程には適用されない。

医学系研究科の過去問題の購入方法について

東京大学大学院医学系研究科の大学院過去入試問題は、東京大学文学部複写センター（日本興業社）にて取り扱っています。

①店頭での購入②FAXでの購入③ネットでの購入（振込/代引きのみ）が可能です。

詳しくは以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://www7b.biglobe.ne.jp/~printservice/>

文学部複写センター（日本興業社）について

問合せ先	Tel: 03-3814-9301 E-mail: print@create-d.info HP: https://www7b.biglobe.ne.jp/~printservice/
店舗販売時間	平日 10:00～16:00 ※土曜・日曜・祝日はお休みです。
アクセス MAP	https://www7b.biglobe.ne.jp/~printservice/access2.html （地下）

○医学系研究科大学院入試に関する問い合わせ先

東京大学医学系研究科大学院担当

E-mail: in.m@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

HP: <https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

東京大学大学院 医学系研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

学校一覧から、東京大学大学院(国立大学法人)を選択してください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

本学HPからもアクセスできます！



2 お支払い

セブン-イレブン

【払込票番号:13ケタ】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ
代金支払い
番号入力画面に進む

【お客様番号】 【確認番号】 入力

ローソン・ミニストップ

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

Loppiへ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】 【確認番号】 入力

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書(チケット)」を受け取ってください。

ページ対応ATM

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ページ)」を選択
収納機関番号に【58021】と入力
【お客様番号】 【確認番号】を入力
支払方法を選択(現金またはキャッシュカード)し、検定料をお支払い

ネット専門銀行

楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から『ネットバンクでの支払い』をクリック
支払う銀行を選択して、インターネットバンキングにログイン
※一度、ブラウザを開いてしまった場合は、E-支払いサイトの「E-支払い明細書」からログインしてください。その際には、11ケタのお客様番号が必要です。
払込内容を確認し、検定料をお支払い(口座引落扱い)

ページ対応ネットバンク

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、「税金・各種料金の払込(ページ)」をクリック
収納機関番号に【58021】と入力
【お客様番号】 【確認番号】を入力
画面上で金額を確認し、検定料をお支払い(口座引落扱い)



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、支払手続を行ってください。

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して【照会結果】を印刷してください。 ※プリンタのある環境が必要です。

3 出 願

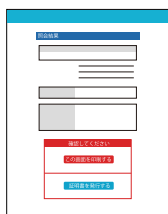
【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。

<注意>

プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。



【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、出願書類に同封して出願。



※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を入試要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了しますので、23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱コンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

■お支払い期間

修士課程、専門職学位課程	令和7年6月1日(日)～6月30日(月)
博士後期課程 (国際保健学専攻[10月入学選抜])	令和7年5月19日(月)～6月18日(水)
医学博士課程	令和7年6月16日(月)～7月15日(火)
博士後期課程 (健康科学・看護学専攻[4月/10月入学選抜])	令和7年11月23日(日)～12月22日(月)
博士後期課程 (国際保健学専攻[4月入学選抜])	令和7年12月8日(月)～ 令和8年1月7日(水)